

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。一富士二鷹三茄子、初夢は見られましたか。

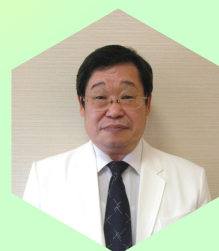
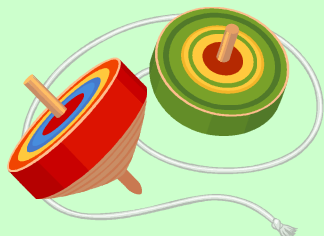
生あるものは死する。人は、生まれた時から死に向かって時を重ねている、とも言われますが、明日への「夢」が無いと生きる意欲の生まれないのもまた人です。自分らしく生きる、自分らしく生き切る為には、その準備が必要です。

インド哲学によるものとして紹介されていることの一つに、人生を四期に分けて考える考え方があります。生まれてから学び、人としての生き方を身に着ける「学生期」。学んだことを社会に還元し、自分の家庭を持ち次の世代を育む「家住期」。そして、もう一度自分の生き方を見つめ直し、自分らしい生き方を静かに考え、時を重ねる「林住期」。人生八十年で考えると、ここで還暦を迎えますが、ここまでは個人のわがままより社会人として行うべきことを行う。そして、残りの年月は個人のわがままも認められる「遊行期」として、自分らしい自分を生き、生き切る。

しかし、生き切ったとされる日がいつ来るかは誰にもわかりません。テレビドラマのように、愛する人の腕の中で決め台詞を言ったところで、ガクッと・・・というのは、ほとんど叶いません。実際には、まだまだと思える今日のうちに、周囲に意思表示しておくことが大切です。人生の締めくくりであり、しかし日々迷いの中でこころが揺れ動くこともある「遊行期」において、それとなく自分の生活を家族も含めて関係者に知って頂けるツールの一つとして、「私の地域カルテ」を使われてはいかがでしょうか。

「私の地域カルテ」は、安心して安全な生活を地域で送れるように医療や介護、福祉の関係者がチームを組んで支えるためのツールです。ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方々もぜひ「私の地域カルテ」の使い方についてご相談ください。

平成26年 元旦



社団法人郡山医師会
郡山市医療介護病院
院長 原 寿夫